

中部通勤圏構想 生活圏イノベーション
愛知県の交通事故死亡者数軽減に向けた自動運転インフラ整備の可能性の模索

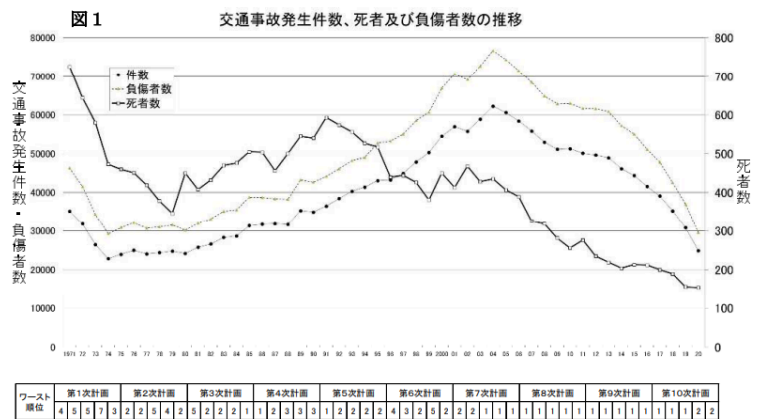
アドバンストコース 2023/12/08
氏名：中根正道（あいち環境塾 11期生）
アドバイザー講師：小林 敬幸

1. 現状の把握（課題認識）

2022年は前年比で死亡事故が増加し、7年続いた死亡事故減少が打ち止めとなりました。

愛知県は、独自の交通安全計画「2025年までに年間の死者数125人以下」を削減目標としています。

2021年は117人と大幅に下回りましたが、**再び目標達成に向けた努力を続ける**ことになりました。



【引用文献】

図1 著者名：「第11次 愛知県交通安全計画、5ページ」
愛知県ページID：0349880 掲載日：2021年7月15日更新

2. 20年後に向けた提言の概要

財源の存在を確認し、ステークホルダーと財源の共有をはかり **複合的に社会課題に対応する交通関連のインフラ整備を加速する。**

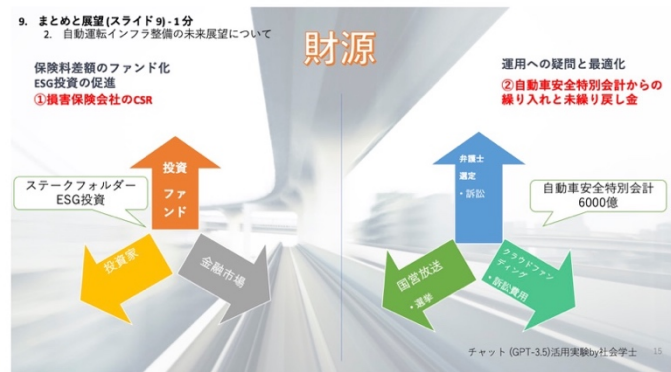
●財源

① 損害保険会社のCSR

（案）販売チャンネル間の保険料差額のファンド化による ESG 投資の促進

② 自動車安全特別会計

[平成 6 年度及び平成 7 年度に、自動車損害賠償責任再保険特別会計（現・自動車安全特別会計）から一般会計に繰り入れた 1 兆 1,200 億円について、約 6000 億円が繰り戻されていない状況。毎年度の繰戻額については、法律や大臣間合意に基づき、財務省及び国土交通省が協議の上、決定]

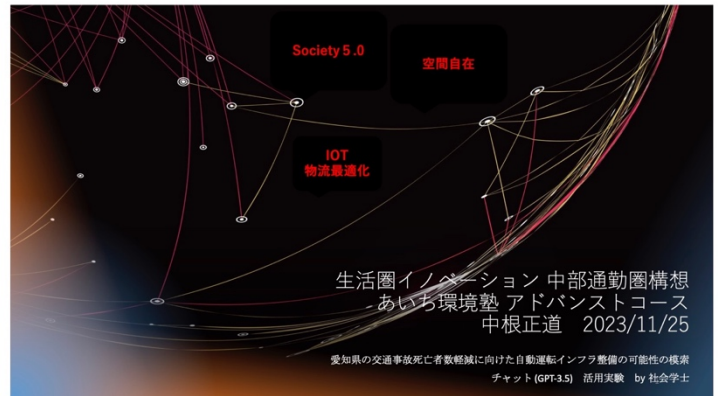


【引用文献】②自動車安全特別会計

文章抜粋：[著書名：国土交通省：一般会計から自動車安全特別会計への繰戻し]
国土交通省：第4回今後の自動車事故対策勘定のあり方に関する検討会資料1
令和3年11月26日 自動車局 より

3. 提案の内容

Society5.0、空間自在、IOT 物流最適化がもたらす次のライフスタイルへの準備を愛知県の交通事故死亡者数軽減に対する施策の必要性に乗じて生活圏イノベーションを研鑽する。具体的最適化の対象は睡眠時間です。**移動時間の有効活用**により活動エリアを広げ、通勤圏の拡大により地方創生に繋げる。

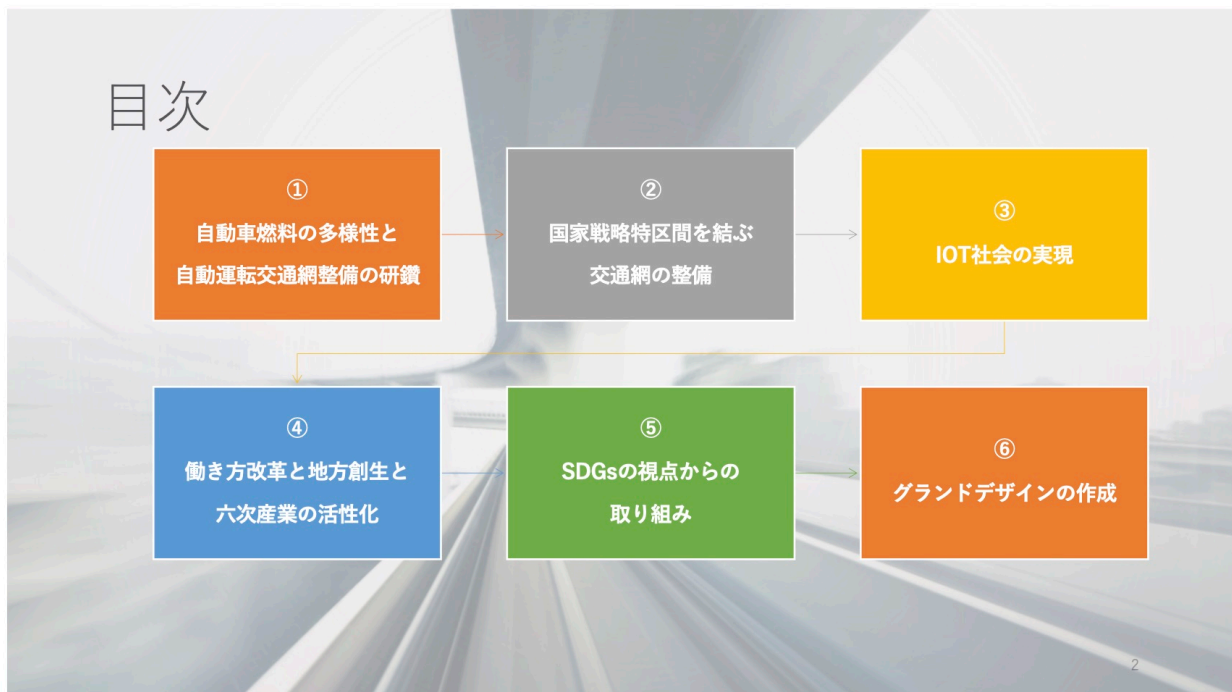


概要

【愛知県の交通事故死亡者数軽減に向けた自動運転インフラ整備の可能性の模索】

自動車燃料の多様性と自動運転交通網整備を研鑽する。具体的には、国家戦略特区間を結ぶ交通網を整備し、点から線、線から面へとIOT社会を享受した日本社会の生活圏を考察する。

「働き方改革と地方創生と六次産業の活性化をもっと!」健康、生涯学習、待機児童問題、学童保育、通勤インフラ、物流システム、社員教育、福利厚生、等テーマを通じてSDGsを参照し、持続発展社会の創造へ向けたグランドデザイン作成への動機付けを行います。



参考：この度のアドバンストコースでは【今回研修で取り組むテーマ】をチャット GPT-3.5 に意見を求めました。

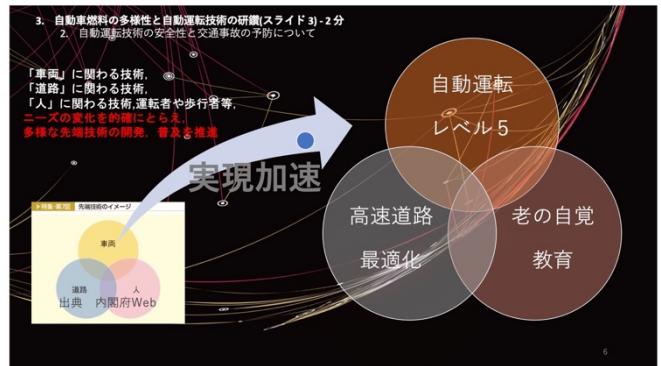
参照：このような取り組みが愛知県の交通事故死亡者数の軽減だけでなく、地域社会の健全な発展や持続可能性を推進する一石二鳥のアプローチとなることは明らかです。そして、この取り組みが地域の未来への投資として、多くの人々に利益をもたらすことでしょう。Chat GPT-3.5

4. 提案実現のための具体的な取組（アクションプラン）と実現可能性

自動運転技術の安全性と交通事故の予防について 内閣府の提言の具現化を 愛チカラ！

人と車の価値ある未来へ道（関連整備）創り
 車両に関しては自動運転レベル5 到達競争、高速道路の最適化に関しては SCDC（super conductivity directcurrent）クリーンエネルギーハイウェイ構想を中心に法面空間も有効活用です。無秩序な太陽光パネルの設置や巨大風力発電方法への検証、人に関しては老の自覚教育、予防医学も含めてまずは人間とは何かの教育です。隠語教育を通じた自覚と実践の啓発です。

実現の財源は、ステークホルダーからの ESG 投資と自動車安全特別会計です。
 財務省と国交省と経産省で農林水産省との協働運動です。



SDGsは稲作、ESDは新嘗祭です。

MDGSの頃は減反政策中（2018年減反政策終了）でした。
 酒、餅、酢、味噌、醤油、等の原料生産の自国生産管理から安心安全な持続発展社会の創造を促します。



5. 波及効果

安心、安全な食の生産、提供、管理、に共感する**受容者との協働運動**を通じて持続発展社会へと国土のリメイクを加速する。

9. まとめと展望 (スライド 9) - 1分

1. 提案の重要性と社会への貢献についての説明

多様な社会課題へのアプローチを提供し、持続可能な社会の構築

高速道路の法面で太陽光パネルの利用
自動運転車両の充電インフラを拡充
高速道路網を使った送電インフラの構想

SCDC (super conductivity directcurrent)
クリーンエネルギーハイウェイ構想

自然エネルギー乱開発への一助



「～上を向いて歩こう～無電柱化民間プロジェクト」より

まとめ：価値あるインフラの創造

- ・送電線の最適化
- ・快適な線のラインの交通インフラ整備

6. 最終報告会における議論

・ウィルビーイングに関連した提案なのでしょうか From アドバイザリー講師様
IoT社会の到来の中でも今のところは、この身を持って対応しなければ伝わらないものがある。
作法や技法、技能や技術です。感覚や間の取り方を子供たちに伝える手段として私は剣道場に通っています。ウィルビーイングに関係した答えになっているか分かりませんが…

・自動車燃料に関しての意見を求める。From 愛知県様
個人的に自動運転自動車燃料の多様性に関して、水素の時代まで今のエンジンの有効活用を通じた**雇用の継続ともものづくり文化の継承**が必要であると思う。
従って現状の車両の空間デザインへの工夫と東海北陸自動車道など通行量の少ない車線を活用した自動運転化を推進する働きかけが必要であると思う

—以下—

【引用文献】

- (1) 著者名：「タイトル」、書籍名、巻、号、ページ (年)
- (2)

1. イントロダクション(スライド1) - 1分

1.1 自己紹介と発表の目的、概要

【引用】 目次作成：チャット gpt3.5

- (1) 環境とは暮らし：2023 あいち環境塾 20231111 8日目 ご講師様 飯尾歩様より

2. 背景と問題意識(スライド2) - 2

2.1 愛知県の交通事故死亡者数の現状と問題意識

- (1) [資料：警察庁「令和2年中における交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」・県警察本部「愛知県の交通事故発生状況(令和2年中)」、「交通死亡事故発生状況(令和2年中)」・国土交通省中部運輸局愛知運輸支局「自動車保有車両数」]
<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/koutsuu/jiko/R02bunseki.pdf>

2.2 自動運転インフラ整備の重要性について

- (2) 第11次 愛知県交通安全計画より
<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/393644.pdf>

3. 自動車燃料の多様性と自動運転技術の修行(スライド3) - 2分

3.1 環境への影響と自動車燃料の多様性の必要性について

- (1) PwC Japan グループ自動車セクター 顧問 藤村俊夫様 より
脱石油に向けた自動車燃料・エネルギーの多様化と次世代車導入優先順位の提示
<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/thoughtleadership/2019/assets/pdf/vol2.pdf>

3.2 自動運転技術の安全性と交通事故の予防について

- (1) 内閣府 Web ページより
https://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/h30kou_haku/gaiyo/features/feature01.html

4. 国家戦略特区間を結ぶ交通網の整備(スライド4) - 2分

4.1 地域経済活性化と物流の重要性について

- (1) 国家戦略特区 - 地方創生
<https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc/shiteikuiki.html>

4.2 自動運転技術を活用した新たな移動手段の提供について

- (1) 会社：Turing 株式会社 / Turing Inc. 設立：2021年08月20日 事業内容：完全自動運転EVの開発・製造 <https://www.turing-motors.com/>
- (2) 令和4年度 特許出願技術動向調査報告書 -スマート物流- 令和5年3月 特許庁
https://www.jpo.go.jp/resources/report/gidou-houkoku/tokkyo/document/index/2022_02.pdf

5. IoT社会の実現(スライド5)-2分

5.1 自動運転車両とIoTの連携の意義について

- (1) 橋の下世界音楽祭 空間自在 TOYOTA City 豊田大橋より

5.2 データ収集と交通最適化の実現について

- (1) 令和5年3月国土交通省 水管理・国土保全局 治水課 遊水地整備&利活用 事例集
https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/pdf/yusuichi-rikatsuyo_jirei.pdf
- (2) 階層構造地下駐車場 <https://car-me.jp/articles/14158?p=2>
- (3) 安全運転中央研修所 <https://www.jsdc.or.jp/school/tabid/149/Default.aspx>

6. 社会課題へのアプローチとSDGsの参照(スライド6)-2分

6.1 働き方、改革地方創生、健康、教育への取り組みについて、SDGsとの一致について

- (1) 個々のSDGsの核となるもの:2023 あいち環境塾 20230603 原理史先生より
環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO 中部)中部地方ESD活動支援センター責任者
<https://drive.google.com/drive/folders/1PMwzGlvBE1goObyTg9PNqzPWO19onVSs>
- (2) 2021 あいち環境塾 中級 中根正道 最終報告書 発表より
<https://drive.google.com/file/d/1sH3mPCBZ1CjDbFnZB52Ncmf62Cf6gHi-/view?usp=sharing>

7. グランドデザインの作成と動機付け(スライド7)-2分

7.1 提案要素の統合と長期的な戦略の検討について

- (1) 気象状況への対応と対策:2023 あいち環境塾 20230617 第2日目資料より
沖 大幹 先生 東京大学 総長特別参与 大学院工学系研究科 教授

7.2 関係者と専門家の協力と行動計画の具体化について

- (1) 国土交通省 再々検討要請(15.2.20)HP用提案事項コード 2120010 中根正道 万博特区
https://www.chisou.go.jp/tiiki/kouzou2/kouhyou/030219/s2_12.pdf

8. 成果と期待される効果(スライド8)-1分

8.1 交通事故死亡者数の軽減と交通安全性の向上について

- (1) 国土交通省 NASVA「交通事故死亡者数、重度後遺障害者数、及び介護料受給者数の推移」
自賠責保険料11.4%値下げ! 国土交通省 「財源と用途の関係イメージ」
<https://kurukura.jp/article/20230308-31/> (株)JAFメディアワークスより

8.2 地域経済の活性化と持続可能な社会の構築について

- (1) 国土交通省 再々検討要請回答(HP用)修正
提案事項コード 1096040 石川県 グリーンツーリズム促進特区
https://www.chisou.go.jp/tiiki/kouzou2/kouhyou/030228/s2_12.pdf
- (2) 中部大学卓越教授・林良嗣氏 国土交通白書2022
<https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/r03/hakusho/r04/html/n1213i01.html>
- (3) SCDC (super conductivity directcurrent) クリーンエネルギーハイウェイ構想
<https://www.jice.or.jp/cms/kokudo/pdf/reports/autonomy/roads/03/houkoku-2.pdf>

- (4) 和倉温泉 多田屋 多田邦彦様 昇龍道 ドラゴンルート
<https://www.dragonroute.net/>
- (5) 中部運輸局、北陸信越運輸局及び中央日本総合観光機構は、中部北陸9県の自治体、観光関係団体、観光事業者等と協働して中部北陸圏の知名度向上を図り、海外からのインバウンドを推進するため、「昇龍道プロジェクト」に取り組んでいます。
<https://www.tb.mlit.go.jp/chubu/kikaku/syoryudo/>

9. まとめと展望(スライド9) -1分

9.1 提案の重要性と社会への貢献について

- (1) 第4回 今後の自動車事故対策勘定のあり方に関する検討会 資料1
国土交通省：一般会計からの繰戻しへの対応について 令和3年11月26日 自動車局
<https://www.mlit.go.jp/common/001443159.pdf>
- (2) 国土交通省 一般会計から自動車安全特別会計への繰戻し
<https://www.mlit.go.jp/common/001302460.pdf>

9.2 自動運転インフラ整備の未来展望について

- (1) 保険料差額のファンド化 ESG投資の促進 事業構想大学院大学
<https://www.mpd.ac.jp/>

10. 暫定応答(スライド10) -2分

10.1 聴衆からの質問に対する準備

●エネルギーの多様性に関して！

人口石油 ラジカル水 今中忠行・京都大学名誉教授
https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=200901090677995936
大阪市 環境局環境施策部環境施策課環境施策グループ 実証実験
令和5年1月11日(水曜日) から令和5年1月17日(火曜日) まで
<https://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000588970.html>

●環境とは暮らしに関して

令和4年中における自殺の状況 令和5年3月14日
厚生労働省自殺対策推進室
警察庁生活安全局生活安全企画課
<https://www.npa.go.jp/safetylife/seianki/jisatsu/R05/R4jisatsunojoukyou.pdf>

●特許件数からみる自動運転化加速の必然性

特許庁
表1【出願人別出願件数上位ランキング(自動運転関連技術、日米欧独中韓への出願)】
表2【出願人別出願件数上位ランキング(MaaS関連技術、日米欧独中韓への出願)】

●戦略・政策の意味の重要性

内閣官房資料 Society5.0 リファレンスアーキテクチャ
https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/a-guidebook1_200331.pdf

11. おわりに (スライド 11) - 1分

11.1 プレゼンの締めくくりと感謝の意を表す

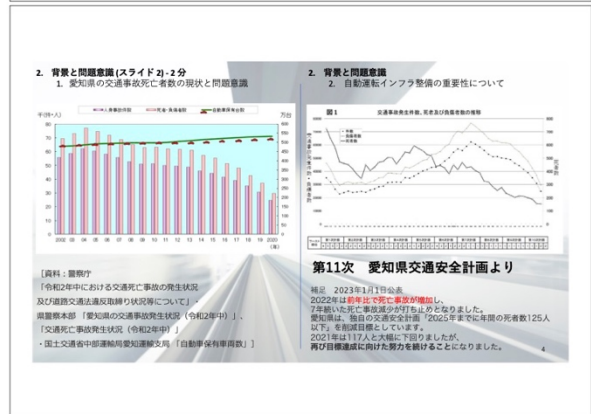
- (1) 知識と知恵は違う チャット gpt3.5 段階での確認
- (2) 2023 あいち環境塾 アドバンストコース 中根正道 報告書
- (3) 環境省 第4回「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」
三井住友海上火災保険株式会社 2022銀賞 (環境大臣賞) 受賞
https://www.ms-ins.com/news/fy2022/pdf/0221_1.pdf
- (4) 個人のニーズを社会のニーズに！あいち環境塾活用例を通じた行政施策の広報
あいち環境塾 2020環境大臣賞受賞団体
<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/449693.pdf>

以下に、各スライドの時間配分を提案します。15分間のプレゼンテーションに合わせて、各スライドをどれくらい時間で進めていくかを示しています。

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション (スライド 1) - 1分 <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己紹介と発表の目的、概要 2. 背景と問題意識 (スライド 2) - 2分 <ol style="list-style-type: none"> 1. 愛知県の交通事故死者数の現状と問題意識 2. 自動運転インフラ整備の重要性について 3. 自動車燃料の多様性と自動運転技術の修行 (スライド 3) - 2分 <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境への影響と自動車燃料の多様性の必要性についての説明 2. 自動運転技術の安全性と交通事故の予防について 4. 国家戦略特区間を結ぶ交通網の整備 (スライド 4) - 2分 <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域経済活性化と物流の重要性について 2. 自動運転技術を活用した新たな移動手段の提供について 5. IoT社会の実現 (スライド 5) - 2分 <ol style="list-style-type: none"> 1. 自動運転車両とIoTの連携の意義について 2. データ収集と交通最適化の実現について 6. 社会課題へのアプローチとSDGsの参照 (スライド 6) - 2分 <ol style="list-style-type: none"> 1. 働き方、改革地方創生、健康、教育への取り組みについて
SDGsとの一致について | <ol style="list-style-type: none"> 7. グランドデザインの作成と動機付け (スライド 7) - 2分 <ol style="list-style-type: none"> 1. 提案要素の統合と長期的な戦略の検討について 2. 関係者と専門家の協力と行動計画の具体化について 8. 成果と期待される効果 (スライド 8) - 1分 <ol style="list-style-type: none"> 1. 交通事故死者数の軽減と交通安全性の向上について 2. 地域経済の活性化と持続可能な社会の構築について 9. まとめと展望 (スライド 9) - 1分 <ol style="list-style-type: none"> 1. 提案の重要性と社会への貢献について 2. 自動運転インフラ整備の未来展望について 10. 暫定応答 (スライド 10) - 2分 <ol style="list-style-type: none"> 1. 聴衆からの質問に対する準備 11. おわりに (スライド 11) - 1分 <ol style="list-style-type: none"> 1. プレゼンの締めくくりと感謝の意を表す |
|---|---|

上記の時間配分は一時提案ですので、実際のプレゼンテーションに合わせて微調整することができます。十分な練習と流れの確認を行って、スムーズなプレゼンを行うことをおすすめします。

チャット (GPT-3.5)活用実験 by 社会学士



3. 自動車燃料の多様性と自動運転技術の研究 (スライド3)-2分

1. 環境への影響と自動車燃料の多様性の必要性について

図表4 エンジン車と次世代車の性能比較・燃費効率

車種	最大出力 (kW)	最大トルク (kgm)	燃費 (L/100km)	CO2排出量 (g/km)	備考
軽自動車	30	3.5	10.0	100	軽自動車
コンパクトカー	60	7.0	15.0	150	コンパクトカー
普通車	100	12.0	20.0	200	普通車
ミニバン	150	18.0	25.0	250	ミニバン
SUV	200	25.0	30.0	300	SUV
ハイブリッド	80	10.0	12.0	120	ハイブリッド
EV	100	15.0	0.0	0	EV
FCEV	100	15.0	0.0	0	FCEV

水素エンジンまで
使用済み天ぷら廃油
からの精製や
廃プラスチックを油化
した精品など
更なる工夫をしながら
産業構造の革新期の
ニーズが生まれるへの
研究が続く 私見!

脱石油に向けた自動車燃料・エネルギーの多様化と次世代車導入優先順位提示

4. 国家戦略特区を結ぶ交通網の整備 (スライド4)-2分

1. 地域経済活性化と物流の重要性について

4. 国家戦略特区を結ぶ交通網の整備

2. 自動運転技術を活用した新たな移動手段の提供について

移動時間の有効活用
国家戦略特区を
自動運転で結ぶ

完全自動運転EVの量産を目指すTuring
We Overtake Tesla

Turing: "We Overtake Tesla" 本日は、自動運転技術の進化と、自動運転技術の活用による新たな移動手段の提供について、お話しさせていただきます。自動運転技術の進化により、自動運転技術を活用した新たな移動手段の提供が可能となります。自動運転技術の活用により、移動時間の有効活用が可能となります。自動運転技術の活用により、移動時間の有効活用が可能となります。

3. 自動車燃料の多様性と自動運転技術の研究 (スライド3)-2分

2. 自動運転技術の安全性と交通事故の予防について

「風雨」に関わる技術
「道路」に関わる技術
「人」に関わる技術
運転者や歩行者等
一人ひとりの責任を明確にする
多様な気象技術の開発、普及を促進

実現加速

自動運転
レベル5

高速道路
最適化

老の自覚
教育

交通 人
出版 内閣府Web

5. IoT社会の実現 (スライド5)-2分

1. 自動運転車とIoTの連携の意義について

自動運転車とIoT (Internet of Things) の連携

1. リアルタイムのデータ共有と分析
2. 交通の最適化と事故予防
3. ドライバーサポートと安全性向上
4. 運行管理と運用効率化

まとめ: 運転者へのサポート

5. IoT社会の実現

2. データ収集と交通最適化の実現について

自動運転車とIoT (Internet of Things) の連携

1. リアルタイムのデータ収集
2. データの分析と交通パターンの把握
3. 交通の最適化と混雑緩和
4. 事前予測と運行案内

まとめ: 交通事故の軽減とストレスの少ない移動体験の提供に寄与

自動運転車とIoTの連携の意義について

自動運転車とIoT (Internet of Things) の連携

1. リアルタイムのデータ共有と分析
2. 交通の最適化と事故予防
3. ドライバーサポートと安全性向上
4. 運行管理と運用効率化

まとめ: 運転者へのサポート

5. IoT社会の実現 (スライド5)-2分

※イメージ

空間を自在に活用

地下の遊水地を駐車場に！
TOYOTA City 地下遊水地活用

国産池イメージ図

交通安全中央研究所では、数回内を確保が
行われている。利用可能な駐車場の確保

(例) 車両が気象状況を予測して駐車スペースを
選定し、移動する。【東京都市圏】

(例) イベント会場の集客数に応じて配車手配をし、
乗車定員と配車数を判断してポートに向かう
【東京都市圏】

(燃料、人件費、車両メンテナンス料)

【参考】遊水地整備と利用事例
令和5年3月 国土交通省 水管理・国土保全局 池水課

7. グランドデザイン作成と動機付け (スライド7)-2分

1. 国産池と専門家の協力による動機付けについて

遊水地を管轄した体験型自動運転ショールームの構築と、
その地下駐車場の高速道路接続

体験型自動運転ショールームと遊水地の開立
遊水地地下駐車場と高速道路接続の運営対策
多様なエネルギーと駐車場の有効活用

空間を自在に活用

2. グランドデザイン作成と動機付け

2. 関係者と専門家の協力による動機付けの具体化について

高速道路と遊水地を遊水地を利用した自動運転ショールームに、
地域住民が公共である遊水地を遊水地活用する考えを導入

遊水地を管轄した自動運転ショールームと運転免許試験場
運転免許試験場の機能と交通安全への貢献
地域経済と持続可能な社会の発展

東京都市圏 万博特区
遊水地を管轄した自動運転ショールームと運転免許試験場を統合

まとめ: 多様な要素を組み合わせ、地域社会の持続発展に貢献する動機

まとめ: 遊水地を組み合わせた
自動運転ショールームに運転免許試験場を統合

2023あいち環状線20230617第2日目資料より 沖 大幹 先生
東京大学 総長特別参事 大学院工学系研究科 教授

6. 社会課題へのアプローチとSDGsの参照 (スライド6)-2分

1. 働き方、改革地方創生、健康、教育、SDGsへの取り組み

自動運転インフラ整備は、Society 5.0の理念やSDGsの要素とも連携し、社会課題へのアプローチを深化させます。

1. 働き方改革への取り組み
2. 地方創生への取り組み
3. 健康への取り組み
4. 教育への取り組み

まとめ 日本の伝統と未来志向の融合を実現

町道場が大切です。創造しましょう!

新田高等学校武術道場「無声堂」/桐生村 大山市

制作: 体研田有効活用
体感伝達: お祭り口文化
伝統継承: 技と作法、技能と技術

Society 5.0

8. 成果と期待される効果 (スライド8)-1分

1. 交通事故死者数の削減と交通安全性の向上についての説明

交通事故死者数
交通事故死者数 (R4 2,610人) 前年比 -26人 (-1.0%)

2023年4月1日以降
自賠責保険料は全車種・全地域で平均
11.4%値下げ!
注目: 一般計の繰戻し

交通事故死者数の削減と交通安全性の向上についての説明

交通事故死者数の削減と交通安全性の向上についての説明

交通事故死者数の削減と交通安全性の向上についての説明

4. 成果と期待される効果(スライド9)-1分
2. 地域経済の活性化と持続可能な社会の構築

交通インフラバージョン インバウンド

SCDC(超伝導エネルギーハイウェイ)構想
中野大学 大橋隆雄 中野隆雄
2023MAG 0109研究会 基調講演より
https://www.motoboujapan.com/ja/guide/3c.html

13

9. まとめと展望(スライド9)-1分
2. 自動運転インフラ整備の未来展望について

財源

保険料差額のファンド化
ESG投資の促進
①損害保険会社のCSR

運用への疑問と最適化
②自動車安全特別会計からの
繰り入れと未繰り戻し金

ステークホルダー
ESG投資

投資
ファンド

投資家

金融市場

自動車保険
+ 損害

自動車安全特別会計
6000億

チャット (GPT-3.5)活用実験/社会学士

9. まとめと展望(スライド9)-1分
1. 提案の重要性と社会への貢献についての説明

多様な社会課題へのアプローチを連携し、持続可能な社会の構築

高速道路の正面で大規模パネルを利用
自動運転制御の高度AIシステムを応用
高速道路沿線を使った送電インフラの構築

SCDC (super conductivity direct current)
超伝導エネルギーハイウェイ構想

自然エネルギー-私用車への取組

自然エネルギー-私用車への取組

「トヨタ自動車」による「スマートモビリティ」プロジェクトより

まとめ: 強めるインフラの創造
・送電線の最適化
・快速な線のラインの交通インフラ整備

13

11. おわりに(スライド11)-1分 プレゼンの締めくくりと感謝の意を表す

損害保険業界での経験を通じて、災害対策と持続発展生活面からアプローチしました。

高まる防災リスクを踏まえて、世紀初頭の首都機能移転議論や道州制議論が盛んであった時代のアイデアを再考しました。

2003年12月の石川県珠洲原発原発事故や2011年6月の奥能登世界農業遺産日本第一号認定を踏まえて、地域の資源、世界の継承、方言の尊重など日本文化への理解が重要性を押し生活面の最適化が急務であると実感しています。

社会関係資本と自然資本の有効活用を望みます。

最後に、尾張名古屋は域で持つ/能登はやさしや土までも という趣意をご紹介させて頂きました。

尾強と能登を行き来する際に快速で便利な車の交通手段の充実を希望する発表にお付き合ひ頂き感謝申し上げます。

ご清聴ありがとうございます。

個人のコピーを社会的コピーに
未来に希望をもてるビジョンが必要

14

参考資料

17

4. 国家戦略特区を結ぶ交通網の整備
2. 自動運転技術を活用した新たな移動手段の提供について ※補足資料

特許件数: 特許件数からみる自動運転化加速の必然性

表1【出願人別出願件数上位ランキング(自動運転関連技術、日本特許庁中韓への出願)】

出願人	出願件数
1. 中国特許庁	4,247
2. HONDA MOTOR CO., LTD.	3,992
3. 本田技研工業株式会社	2,848
4. 本田技研工業株式会社	2,802
5. 本田技研工業株式会社	2,207
6. 本田技研工業株式会社	1,882
7. 本田技研工業株式会社	1,842
8. 本田技研工業株式会社	1,714
9. 本田技研工業株式会社	1,662
10. 本田技研工業株式会社	847

表2【出願人別出願件数上位ランキング(自動運転関連技術、日本特許庁中韓への出願)】

出願人	出願件数
1. 中国特許庁	4,247
2. HONDA MOTOR CO., LTD.	3,992
3. 本田技研工業株式会社	2,848
4. 本田技研工業株式会社	2,802
5. 本田技研工業株式会社	2,207
6. 本田技研工業株式会社	1,882
7. 本田技研工業株式会社	1,842
8. 本田技研工業株式会社	1,714
9. 本田技研工業株式会社	1,662
10. 本田技研工業株式会社	847

図3 Society5.0 リファレンスアーキテクチャ¹⁾
(出典: 内閣府資料)

13

参考: 人口石油 ラジカル水

人工石油の生成コストは、軽油の場合
1リットル14円

今中忠行・京都大学名誉教授
https://github.com/kenji-imaoka/ID-20090109677995936
大塚 徹哉 福島県立医科大学健康増進推進センターグループ より
https://www.otc.or.jp/ka/ka/kyo/kyo/000588376.html
実業主: エスエフエナジー株式会社
(本社: 松本市東区)
代表取締役社長: CEO 山本 昌哉

自殺者数

・(R4 21,881人) 前年比874人(4.2%)増

自殺者数の年次推移

令和4年中における自殺の状況 令和5年3月14日
厚生労働省自殺対策推進室
警察庁生活安全局生活安全企画課

18

以下に、各スライドの時間配分を提案します。15分間のプレゼンテーションに合わせて、各スライドをどれくらいの時間で進めていくかを示しています。

1. イントロダクション(スライド1)-1分
1. 自己紹介と発表の目的、概要

2. 背景と問題意識(スライド2)-2分
1. 実況の交通状況と課題と問題意識
2. 自動運転インフラ整備の重要性について

3. 自動運転インフラ整備の重要性について(スライド3)-2分
1. 環境への影響と自動車燃料の多様性の必要性についての説明
2. 自動運転制御の安全性と交通手段の多様性について

4. 国家戦略特区を結ぶ交通網の整備(スライド4)-2分
1. 地域経済活性化と物流の重要性について
2. 自動運転技術を活用した新たな移動手段の提供について

5. IoT社会の実現(スライド5)-2分
1. 自動運転車両とIoTの連携の意義について
2. データ収集と交通最適化の未来について

6. 社会課題へのアプローチとSDGsの貢献(スライド6)-2分
1. 働き方、改革地方創生、健康、教育への取り組みについて
2. SDGsの一環について

7. グランドデザイン作成と動機付け(スライド7)-2分
1. 提案の概要と長期的な戦略の設計について
2. 関係者と専門家との協働と行動計画の具体化について

8. 成果と期待される効果(スライド8)-1分
1. 交通事故発生率の削減と交通安全性の向上について
2. 地域経済の活性化と持続可能な社会の構築について

9. まとめと展望(スライド9)-1分
1. 提案の重要性と社会への貢献について
2. 自動運転インフラ整備の未来展望について

10. 質疑応答(スライド10)-2分
1. 質疑からの疑問に対する準備

11. おわりに(スライド11)-1分
1. プレゼンの締めくくりと感謝の意を表す

上記の時間配分は一時提案ですので、実際のプレゼンテーションに合わせて微調整することができます。十分な練習と流れの確認を行って、スムーズなプレゼンを行うことをおすすめします。

チャット (GPT-3.5)活用実験/社会学士